

2015 年東北周遊旅行記

2014 年に続き、夏休み長期旅行。今年は、東北(男鹿半島・津軽半島・下北半島から八甲田山・岩木山・十和田湖 & 奥入瀬渓谷・八幡平・田沢湖)を巡ります。

7 月 6 日に納車のレヴォークでの初の長距離旅行。

仕事と大屋行きで 1,000km の走行し 7 月末に 1 ヶ月点検を受け万全の準備。



8 月 4 日(火)1 日目 枚方～新潟市

枚方を午前 3 時前出発、名神から北陸道で新潟市へ。初めてのアイサイト。全車速追従式オートクルーズにハンドルアシストなど運転支援システムに慣れるには丁度的高速走行。長距離運転に最適。15 時 20 分ホテルオークラ到着。



ビールで休息。歩いて 10 分程の万代島にある佐渡弁慶びあ万代店で夕食。

8 月 5 日(水)2 日目 新潟市～山形県酒田市鳥海山

新潟はで初めての泊り、ホテルから近い白山公園から上古町商店街を周辺散策。

9 時チェックアウト。万代島のコンベンションセンターへ。展望フロアから市内を一望。

日本海東北道を走り、村上市で日本海沿いの国道 345 線に入り、笹川流れへ。(友達から岩ガキが有名とのこと)

鶴岡市から高速に入り直し、今回の最初の目的地、鳥海山高原側の家族旅行村に 16 時 45 分着。

ツリーハウス型のケビンに宿泊。



日没まで時間があるので、鳥海高原ラインを飛ばし標高 1,200mの終点駐車場。山頂周辺の残雪が見える。



ケビンに戻り、近くの鳥海山荘の温泉で汗を流す。

8月6日(木)3日目 鳥海山～秋田市

9時50分スタート。旅行村を下ったところの玉簾の滝へ。(駐車場から徒歩3分の案内も10分はかかる)



遊佐町の湧水群によってから鳥海ブルーラインを登り大平山荘から鉾立山荘の展望所で休息。



ドライブとして中々な道路です。ブルーラインを下り元滝伏流水に立ち寄り、



にかほ市を通過して道の駅象潟ねむの丘の展望所から九十九島を一望と昼食。国道7号線を北上し秋田市の県庁に近い警察の共済施設へ18時15分到着。県庁近くで祭りの様子。竿燈祭りは昨日までと思っていたが、今夜まである様子。ラッキーです。



しばし休憩後、県庁前通りに向かうと人だかり。屋台村で夕食をとり祭り見学。

最後は通りの中で記念撮影もさせていただきました。

8月7日(金)4日目 秋田市～男鹿半島～秋田県八峰町

朝は一人で近くの吉野家で朝定食。10時半宿を出て7号線を進むと大きなタワーを発見。道の駅秋田ポートタワーセリオン。



展望台に上がり市内一望。7号線に戻り一路男鹿半島を目指す。男鹿市手前の観光案内所で情報を集め、男鹿海鮮市場で昼食。男鹿半島でも紅ズワイガニが取れるようなので、男鹿水産で蟹をゲット。半島の外周路を回り、今回の目標ポイントの入道崎へ。



北緯40度線上にあるため、安山岩で出来た40度ラインモニュメントがある。灯台に登り資料室も見学。

北の外周を走り、国道101号線に出て北上。能代市を通過し、八峰町の旅館へ17時20分着。国道沿い五能線あきた白神駅の前でした。温泉に入り、宿の食事に大満足。



8月8日(土)5日目 秋田県八峰町～青森県十二湖～鱒ヶ沢町

8時スタート、101号線を北上、青森との県境にある道の駅はちもりで名水お殿水を調達。青森に入り、十二湖駅前から十二湖へ入る。約30kmで散策路の駐車場。青い池など散策。美瑛ほどの感動色ではなかったが、まずまずの散策路でした。



国道にもどり不老不死温泉へ。有名なスポットですが、この場所深浦町が青森県内ナンバーワンのマグロの水揚げとのこと。(大間ではない)深浦マグロステーキ丼広告を見て、昼食にいただく。生、たたき、ステーキの3種類を自分でセットする丼。



今夜の宿を五所川原市のホテルで探したがお盆がらみの土曜日でもあって適当なところ無く、鱒ヶ沢のキャンプパークを選択。

途中テレビで見た五能線轟木駅に立ち寄り、千畳敷海岸を見て、鱒ヶ沢駅から南へ10kmで16時30分到着。



芝地のゆったりしたオートキャンプサイト。ここで、今回新しく買ったスノーピークのテントを設営。男鹿半島で買った蟹で夕食。



8月9日(日)6日目 鱒ヶ沢町～五所川原市～中泊町

10時30分スタート。鱒ヶ沢駅に戻り、海の駅わんどへ。舞の海の出身地だそう。五所川原市に入り、ねぶた祭りの「立佞武多の館」を見学。



横に市場食堂があり、勝手井で昼食。

ここから津軽鉄道線に沿って走り、金木町へ。太宰治記念館を見学。

近くに無料で泊まれる芦野公園オートキャンプ場があるとのことで確認に行く。良さそうな場所なので泊まりに決定。近くの温泉情報を探すと宝森温泉とある。迷いながら行くと老人福祉センターで温泉名が宝森とのこと。250円の激安です。キャンプ場も無料で安上がり。



8月10日(月)7日目 金木町～十三湖～龍飛岬～青森市

10時スタート。キャンプ場から西へ日本海側にて、十三湖へ。ここにも中の島にキャンプ場がある。

県道から国道339号線に出て今回の第2の目的地、津軽半島の龍飛岬を目指す。岬手前に青函トンネル記念館がある。

36年前の大清水トンネル事故がなければ栗原君が担当したであろうトンネルです。館内から竜飛斜坑線に乗って地下140mの坑道後を見学。



ここからは岬まですぐ。津軽海峡冬景色を歌いながら龍飛岬を楽しむ。



そして国道(339)の階段部分を発見。車で下に回る。入口出口を確認。岬最北端の帯島に入り、津軽海峡亭でマグロ丼の昼食。



国道に戻り今度は半島の東側を走る。下北半島へのフェリーがある蟹田で展望台を見つけて登る。2日続けてのキャンプから今夜は青森市内のホテル泊、16時50分着。青森ベイブリッジの夜景を見て、ホテル内のビアレストランで夕食。



8月11日(火)8日目 青森市～恐山～むつ市

朝食後10時前スタート。青森観光物産館アスパムで買い物してから、国道259号線で青森湾を東進。



下北半島の付け根、横浜町にある道の駅で昼食。むつ市に入り、恐山へ。なんとも言えない風景が飛び込んでくる。菩提寺恐山霊場を巡る。



市内に戻り、大湊線終着駅大湊の駅側にたつホテルホルクローレ大湊にチェックイン16時50分。

駅を見学するとヒバのチップが無料で持ち帰る。土産店にもあるがここは本当のチップ形状大振りではるかに良い。夕食はホテルにあったチラシのフランス料理風の店に。これがまた格安絶品でした。

8月12日(水)9日目 むつ市～仏が浦～大間～風間浦村

昨日に続きホテルで朝食後9時にチェックアウト下北半島周回に向かう。ホテルを出てすぐの北洋館(海上自衛隊記念館)を見学。

国道338号線を西に35km津軽半島へのフェリー乗り場がある脇野沢から北上し同じく35kmで仏が浦に向かう観光船の発着場である牛滝に到着。ちょうど出発間際。15分で仏が浦に到着。ここも恐山とはまた違った絶景です。



そしていよいよ、今回の第3番の目的地、大間崎へ。大間の駐車場をナビにセットすると「盗難多発地帯」の案内、こんなところでも！本州最北端の碑北緯41度33分に到着。



観光終えて地元のスーパーマエダで大間のマグロを見つけて購入。やったね！



急いで、本日の宿、風間浦村の下風呂温泉へ 17 時 15 分到着。温泉街を散策すると大間鉄道のメモリアルロード(足湯つき)に烏賊様レース場がありました。(後日テレビでも何度か放映)ここはイカが美味しいようで、宿の夕食が部屋食だったので、これに大間のマグロを加えて豪華な夕食となりました。



8 月 13 日(木)10 日目 風間浦村～尻屋崎～六ヶ所村～三沢市

9 時 15 分スタート。下風呂温泉を出発して、国道 279 号線ハマナスラインを西に大畑バイパスになる付近で廃線を発見。大畑線大畑駅。

東通村に入りレストハウスに立ち寄り、尻屋崎灯台へ。大間に比べ人も少なく、寒立馬が出迎えてくれるゆったりとしたいい場所です。(大間崎よりおすすめ)



ここから下北半島を南下、観光案内で見つけたヒバの埋没林を見て、六ヶ所村の白糠灯台に立ち寄る。



ここですれ違った人の落とし物(スイカカード)を見つけてしまう。少しもどった白糠漁協でカードを見てもらうと名前から連絡先が判明。人口が少ないとすぐにわかるようだ。なお南進して三沢市の小川原湖に。三沢市民の森にあるやすらぎ荘に宿泊、15時15分着。一泊2食で5,550円と安い。オートキャンプ場や温泉にスポーツ施設とかなかなかのスポットです。



雨でなければキャンプも良かったのですが、残念。予想どおり夜半から雨でした。

8月14日(金)11日目 三沢市～八戸市～階上町～八戸市

小雨の中、9時30分に出発するとすぐに県立三沢航空科学館。重力体験など大人も楽しめる場所です。

Good!



太平洋沿いを南下。蕪島ウミネコ繁殖地の蕪島神社に立ち寄る。(神社はこの年 11 月に火事で全焼)



葦毛崎展望台から天然芝生地の種差海岸へ。ここには立派なインフォメーションセンターが建っている。三陸復興国立公園の一環で整備されたようだが、国にはお金がある。



ここから 5km ほど南にいくと岩手との県境。青森県最南端の階上町。大阪の出発前に NHK の番組で放映され



ていた、またげる県境の場所。マニアックですが！

国道 45 号線で八戸市に戻り本八戸駅近くのホテルに 16 時 20 分チェックイン。夕食に屋台村へ。昨年の帯広市の屋台村とよく似た雰囲気。たくさん店があつて迷い迷いながら、みろく横丁のマンキ食堂を選択。

8 月 15 日(土)12 日目 八戸市～十和田湖～新郷村

今夜もお盆の土曜日とあつて今日も適当な宿がない。十和田湖近くを探しても約 30km 離れた新郷村温泉の予約。八戸は朝市が有名。早起きして陸奥湊駅前の朝市に行く。小雨のため客は少なげ、夕食食材を購入。

帰り道の駐車空き地でも朝市を発見。ホテルに戻り朝食をとり、8 時 30 分出発。

国道 104 号線の南周りで、南部町・三戸町・田子町を通過、発荷峠から十和田湖に入る。



今回の旅行の第 4 の目的地、十和田湖と奥入瀬渓谷。ビジターセンターで明日の奥入瀬渓谷歩きの情報をチェック。駐車場の位置と戻りのバスを教えてもらうが、渓谷の位置からするとおかしい。子ノ口のバスターミナルで確認するとここが渓谷の入り口で、一番近いとのこと。ほっとして新郷村へ移動 16 時半着。温泉への途中の道が大雨の影響により通行止めで迂回させられる。鄙びた温泉だが、ゆっくり。

8 月 16 日(日) 13 日目 新郷村～十和田湖～奥入瀬渓谷～八甲田山

8 時 30 分宿を出発。いよいよ奥入瀬渓谷ツアー。スタート地点の子ノロバス停の駐車場へ。お盆の日曜日だが余裕で駐車できた。リュックや水筒を準備して、出発。



直ぐに五両の滝、銚子大滝と続く、溪谷沿いを下る。石ヶ戸まで 8.7km 約 3 時間少しのハイキングは good !
石ヶ戸バス停から子ノ口までバスで戻る。



溪谷は国道 102 号線十和田道沿いにあり、地元の人には車で見るらしい。駐車場に戻り今夜の宿のある第5の目的地八甲田山を目指す。八甲田山東部の難岳を回るルートでは霧が徐々に深くなり、中央白線も見えない状態に。さすが八甲田山。



宿の八甲田温泉は山の一軒宿、16時30分到着。



古びた宿だが、3種の原泉があり、温泉は最高。露天から八甲田山が見えて、極楽です。

8月17日(月) 14日目 八甲田山～山頂公園～田舎館村～弘前市

朝風呂も楽しみ、ゆっくり朝食を取り9時30分出発。

宿を出るとすぐにある雪中行軍記念館鹿鳴庵を見学し、八甲田山ロープウェーへ。山頂公園を散策してから酸ヶ湯温泉へ。



昼食に蕎麦を食べて、一路弘前へ。途中に田んぼアートを見つけて立ち寄る。弥生の里展望所に登るが 200 円なり。



一路弘前市内へ。15 時 30 分ホテルチェックイン。周辺散策して中三百貨店で夕食を買って部屋で食事。

8 月 18 日(火) 15 日目 弘前市

弘前では、今回の第6の目的地の岩木山スカイラインを予定していたが、山に傘雲がかかっている今日は断念明日の期待し、弘前駅前のホテルを予約し、11 時チェックアウト、市内を観光。弘前城周辺を散策。



15 時過ぎにホテルにチェックインしてゆっくり。夜は近くのイトウヨーカドーにて夕食。

8 月 19 日(水) 16 日目 弘前市～西目屋村

今日も岩木山は厚い雲。今回は岩木山は断念して、目標第7番目の白神山地を目指す。ホテルの朝食後 10 時前スタート。途中の白神山地ビジターセンターで情報収集し、岩谷観音見学して、アクアグリービジッツへ 12 時半着。



オートキャンプ場になっているので、サイトを見学して決定。



BS番組の子どもキャンプでほぼ貸切状態のサイトだが温泉もあり今回3回目のテント泊。明日の備え、近くのブナ林を散策。



8月20日(木) 17日目 西目屋村～秋田県北秋田市

いよいよ白神山地に入る。キャンプ場から暗門の滝まで片道約3km1時間少し。中間地点付近でサルの集団に遭遇。結構な頭数で多少の危険を感じる。通り過ぎを待つ。この先は道が狭く、トンネル道や足場道が続き、滝が現れる。



最後の滝は急な傾斜階段の上。きつい登りだが、眺めは絶景。



昼前にキャンプ場に戻り撤収。

青森を離れ秋田県を目指す。秋田へは弘前経由が一般的だが、地図では県道 317 号線がショートカット道。津軽白神湖から 317 号に入ると工事中。警備員さんに確認すると通れるとのこと。しかし徐々に道が細くなり地道になる。新車のレヴォークを気遣いソート走行。県境を越えると秋田県側は舗装されていた。

道路沿いの白神山地世界遺産センターを見学して本日の宿の伊勢堂温泉縄文の湯へ、16 時着。

8 月 21 日(金) 18 日目 北秋田市～八幡平～仙北市乳頭温泉

出発前に昨日の地道走行でドロドロのレヴォークを温泉水で洗う。さっぱりした車で 9 時 20 分出発、第 8 の目的地、八幡平を目指す。秋田の空港がルート上にあり立ち寄る。ひない鳥の名産地とのことで道の駅にも立ち寄る。約 80km 走り八幡平アスピーテラインで岩手県との県境のレストハウス駐車場へ。



1 時間ほどのトレッキングコースで八幡沼や山頂展望台を散策。



レストハウスで昼食をとり、少し岩手県側を走行してから今回の最後の目的地、乳頭温泉を目指す。鶴の湯は温泉郷の中でも古く1688 年ごろからあるようです。県道から約 3km また地道。小雨であり折角の洗車が・・・、ドロドロになって 15 時 30 分到着。



よくぞ空いていた。温泉は最高です。



8 月 22 日(土) 19 日目 乳頭温泉～田沢湖～山形県米沢市

朝風呂を楽しみ、朝食後 10 時出発、小雨だが折角なので温泉郷を巡る。鶴の湯だけが県道から離れた場所だが、後は県道の終点に5軒がまとまってある。黒湯温泉も良さそうでした。(次回ならここ)



乳頭温泉を後に田沢湖に行く。雨で旅行客も少なくちよい周辺を走って山形を目指す。

今夜は大曲の花火大会があるので、大仙市方面を避けて避けて美郷町から横手市に入っている。国道13号線湯沢横手道路も反対車線は大曲行きバスの車列が続く。250kmを5時間で17時40分ホテル到着。米沢と言えば米沢牛。駅前でお店を探し米沢牛で最後の夕食。

8月23日(日) 20日目 米沢市～喜多方市～会津坂下町～磐越・北陸・名神・京滋～枚方市

朝食後、演習授業に来ていた学生の実家が米沢で肉屋さんをやっている話を思い出して、駅前へ。昨夜の食事した場所の向かいだった！お土産に米沢牛を仕入れて、9時30分にスタート、国道121号線で喜多方経由して磐越道にのる。会津坂下ICから約650km10時間で21時10分枚方に帰着。